

令和元年度 第4回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務作業部会
スクールバス運行管理部会 議事録

審議会等名 令和元年度 第4回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務
作業部会スクールバス運行管理部会

日 時 令和2年1月14日（火）午後6時30分～午後8時15分

会 場 南河内中学校 会議室

出席者 蓬田優 部員、川田玲子 部員、飯笹亜希子 部員、稲見俊幸 部員、
鶴見昌佐子 部員、松本裕子 部員、森岡紀子 部員、人見佳代子 部員、
星野良子 部員、橋本俊明 部員、秋山貴子 部員、近藤善昭 部員、
田澤孝一 部員
【欠席委員】宇賀地平 部員、河野美穂 部員、

市側出席者 （事務局）星野友保 学校教育課長補佐、森口哲二 同課主幹、稲葉亜希恵 同課
指導主事、佐々木功一 同課指導主事、上野保久 同課小中一貫教育
統括コーディネーター

公開・非公開別 （公開） ・ 一部公開 ・ 非公開

傍聴人 0人

議事録（概要） 作成年月日 令和2年1月15日

1 開会（星野課長補佐）

2 部会長あいさつ（蓬田部会長）

皆様こんばんは。改めまして、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願
いいたします。今年の冬は非常に暖かい冬になりました。また、昨年の台風19号で、
市内も大きな災害を被りました。特に、石橋中学校の周辺も大きな被害を受けたとい
うことでした。先頃、仁良川地区で、11回目のどんど焼きを開催しました時に、ご来賓
の皆さんも、異口同音に、「どんど焼きで厄をはらって来年はよい年にしたい」というよ
うなお話がありました。ただ、この正月明けの暖かさというのは、逆に、北の方では雪
不足になり、スキー場などウィンタースポーツ関係等にも生活に関わるような非常に大
きな影響を与えているということでした。今朝方も震度4の大きな地震がありましたけ
れども、また今年も地球温暖化が加速して、自然災害が起こるのではないかと心配する
ところです。皆様には、この南河内中学校区義務教育学校の新設という明るい材料を地
域の方々に提供するために、ぜひ、スクールバス運行管理部会としてご協力いただき
たいと思います。本年度も皆様方の忌憚のないご意見をどんどん出していただいて、スク
ールバス運行管理部会がいい方向に進んでいくことができるように、皆様のご協力をよ
ろしく申し上げます。

3 報告

（1）新校の校名検討状況について

（蓬田部会長） 報告に入ります。スムーズな会の進行にご協力ください。新校の校名につ
いては、総務部会で検討が行われてきましたが、候補が決定したとのこと

ですので、事務局より説明をお願いします。

(森口主幹) [資料1：R1. 12. 20 推進協議会資料「(仮称)南河内中学校区義務教育学校の校名候補について」について説明]

(蓬田部会長) ただ今、事務局から報告がありました。校名の第一候補として、「下野市立南河内小中学校」に決めたという報告がありました。この後、1月16日に市長が入りました総合教育会議で最終決定ということになるかと思いますが、皆さんの方から、ただ今の説明についてご質問ご意見等ございましたらお願いします。ちなみに、まだ決定ではありませんのでご承知おきください。

4 議題

(1) 停留所・運行ルート検討について

(蓬田部会長) 続きまして、議題に入ります。まず(1)停留所・運行ルート検討について。前回の作業部会では、学校区ごとに停留所の候補地を絞り込みましたが、今回からは、運行ルートを含めて更に皆様にご検討いただきたいと思っております。まず、事務局より説明をお願いします。

(森口主幹) 運行ルートの説明の前に、前回の作業部会でご意見をいただきました自治会長様からいただきました2キロ要件撤廃のご要望について、ご報告させていただきます。本作業部会で確認しました「基本的には2km以上の児童を対象とする方針は崩さない」旨を、その後行われた準備委員会及び推進協議会で報告させていただき、どちらの会議でも、現在の方向性で引き続き検討をお願いしたいとのこととなりましたのでご報告いたします。続いて、本日お配りしました資料の説明をさせていただきます。

(上野CO) [資料2：スクールバス運行ルート案(令和4年度利用予定者を基準にして)、資料3：令和4年度各小学校区バス乗車児童人数見積もり、資料4：地図について説明]

(蓬田部会長) では、事務局からの資料の説明がありました。まずは2キロ要件につきましては、推進協議会等で承認をいただいたということでした。そして、スクールバスの運行経路につきまして、開校時の児童数を基にルートの案が示されましたが、まず、この資料についてご質問があればお願いします。特に3小学校のPTA関係者、それから教頭先生もいらっしゃいますので、まだまだ本決まりということではないのですが、逐次ご意見をいただきながら進めていきたいと思っております。ただ今の事務局からの説明について、ご理解いただけただけでしょうか。不明な点があれば、発言をお願いします。「ふれあい館」と「谷地賀上下公民館」の話もありましたが、特に「谷地賀上下公民館」の場合、谷地賀地区は橋の東側と西側に分かれていて、橋も歩道が付いていますが、できるだけ橋を渡らない方法をとる必要があるのではないかと事務局の話でした。また、「ふれあい館」については、人家が少なく、児童がいない可能性があるため、停留所を設ける必要の有無の指摘がありました。そういうことも含めて、皆さんからご意見があればお願いします。

(稲見部員) 学校区ごとに集まって検討してはどうでしょうか。

- (蓬田部会長) ただ今、学校区ごとに分かれて内容を検討してはどうかというご意見があったのですが、いかがですか。
- (田澤部員) 分かれる前にお願いします。ただ今の事務局からの説明は、令和4年度開校時の住所から割り出した人数を基に行いました。登校班ごとにまとめるのは難しく、事務局がだいたいの人数を予想して割り振っていますので、正確な数値ではありません。今から学校区ごとに分かれるということであれば、人数の違い等がわかりましたら、事務局に情報として教えていただき、なるべく開校時の状態に近いような人数割りで、配分をしていければと思います。特に、吉田東小学校始発の28人という満員状態のところについては、一人の増員がバスの台数に関係してくるところですので、もし、細かな情報がありましたらそれを含めてご検討いただきたいと思います。そこまではわからないということであれば、今回お示した状況でご検討願えればと思います。
- (蓬田部会長) それでは、学校区に分かれて検討していただきたいと思います。検討の結果につきましては、教頭先生にご説明いただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

各小学校区に分かれて協議

45分間

- (森口主幹) 検討結果を、プロジェクターを使ってご報告願いたいと思います。まず、薬師寺小学校区からお願いします。
- (人見部員) 薬師寺小学校区で検討した結果です。薬師寺6丁目公民館について、示していただいた案は2台に分かれてという案なのですが、6丁目公民館を始発にして21人の児童を1台に乗せて輸送しますと、時間も距離も短縮でき、その分、このバスを他のところのピストン輸送に回せるかもしれないという案が出ました。日生団地の児童8人については、少し遠回りにはなるのですが、成田公民館、町田大通りを回るルート、成田8人、町田8人、計24人で回すというルートではどうだろうと考えました。谷地賀の児童8人は、吉田東小学校区から来るバスに乗せていただければ、バスは橋を渡っていくコースを取ることによって橋の西側の子たちも乗せてもらえるのではないかと考えました。バスが今9台予定されていますが、1台でも少なくなつた方が予算的にもいいのではないかとということで、ピストン輸送が可能なバスを捻出する方法を考えました。反面、日生団地の子たちは遠回りにはなりますが、時間的には現在の通学時間の半分以下になりますので、どうにか理解が得られるのではないかと考えました。以上です。
- (星野部員) では、吉田東小区です。先ほどふれあい館という話があったのですが、もし、鯉沼公民館、それから三王山公民館に停まってもらえないときは、ふれあい館にという話だったので、両方停まっていたらいいのであれば、ふれあい館はなくても可能です。その分、吉田東小学校に来る児童の中で、上吉田地区と川島地区北部の児童は少し遠いので、この近くにある上川島消防小屋を一つ増やしていただきたいと考えました。そして、南河内東公

民館に本吉田地区の児童が乗るということですが、吉田東小学校のすぐ南側も本吉田なので、本吉田地区は南河内東公民館から乗車することというように地区を指定をしてしまうと不都合が生じるので、停留所が決まってから登校班を見直した方がよいと思います。地区によって停留所を決められてしまうと、例えば学校の前の2軒の家も、すぐ隣の吉田東小学校が停留所なのに、南河内東公民館に行かなくてはならないということになってしまいます。川島も範囲が広いので、上川島消防小屋に停留所を作ると人数が適度に分散して調整しやすくなると思いました。以上です。

(橋本部員)

吉田西小学校区です。いろいろな案が出ました。計画は4台利用ということでしたが、他の学校区と同じように、台数を減らせることならば減らしていきたいという考えから、3台利用になるように考えました。まず、ルート9の別処山公園発の15人については、ルート8の別処山公園8人と合わせて23人を1台のバスで輸送をしてしまった方が、効率がいいだろうという案。それから西坪山公園の6人と、吉田西小学校から出る上坪山、的場、東根の15人、プラス、吉田東小学校区から来る塚越1人を足して、全部で22人で1台の案。もう一つは、台坪山の23人をひとまとまりにして輸送する案。合計スクールバス3台で済む案です。加えて、台坪山の児童が、吉田西小学校まで来るのは、台坪山の片方の班は学校に近いのですが、もう一班は、西坪山公園に近い地域で、学校まで距離があります。西坪山公園に集合する案も考えられますが、須藤工業さんのところの横断歩道を渡るのは通りが激しく危険なものですから、西坪山の班と合流するのはちょっと交通安全上難しくなります。これは私の個人的な考えなのですが、可能でしたら、台坪山地区の児童が集まりやすい東根供養塔の前辺りに停留所を作っていただきたいと思います。ここは昔の県道で、大通りからの出入りもしやすく、児童の乗り降りもしやすいところなので、ここを停留所にするのも一つの案だと思います。それが無理ならば、吉田西小学校まで歩いてきて、吉田西小学校発で学校までという元々の案でも結構です。

(蓬田部会長) 東根供養塔から乗る児童はどの地区の子ですか。

(橋本副部会長) 東根供養塔のところから乗る子は、台坪山地区全部です。そうすれば学校まで来る手間が省けるかということ。

(上野CO) ルート7の吉田西小学校が東根供養塔になるわけですね。

(橋本副部会長) そうです。子どもの住まいは、東根供養塔の近辺、南に延びる通りの周辺、西の方面の西坪山に近い地域です。東根供養塔の位置は集まりやすいと思います。

(上野CO) ちょうど道が広がっているので、バスの横付けができるスペースはあります。

(橋本副部会長) そうですね。時々大型のトラックが休憩しています。停車できるスペースがあるものですから、ここを停留所にすることも可能かなと考えています。

(田澤部員) 台坪山の23人の子はみんなそこから乗るのですね。

(橋本副部会長) そうです。台坪山の自治会の通りを通ってくれば、地域の人々の目もあるものですから安全に集まれると思います。

- (森口主幹) 各学校区からの報告がありましたけれども、他の学校区の説明についてのご質問やご意見があればお願いします。
- (田澤部員) 先ほど、吉田東小学校区で、上川島の消防小屋の話が出たと思いますが、上川島消防小屋には屋根があるのですか。
- (星野部員) ほとんどないに等しいです。
- (田澤部員) 一度、候補地として挙げられた所ですね。また、先ほど学校区に分かれての協議の中で、ピストン輸送のことについて、同じ停留所でピストン輸送をやると、早番遅番ができて子どもたちの生活のリズムが安定しなくなるので難しいのではないかというご意見をいただいたのですが、違う地区で使ったバスが、その地区に行けば、同じ時間に設定できるので、そういう使い方ならありと考えていいのですか。
- (鶴見部員) 雨の日などには相当時間がずれるのではないですか。
- (田澤部員) それは、そうならないように余裕をもった時間設定をしたいと思います。集合時間が決まっていれば、基本的に運行管理ができるのではないかと思います。
- (鶴見部員) ピストン輸送ありきで運用するのですか。
- (田澤部員) なるべく台数を減らすためには、近距離運行のバスは、輸送完了後、別のルートに行って児童を輸送するということは検討したいと思っています。集合時間が変わるということが起こらなければ、生活のリズムは作れるのではないかと考えています。
- (稲見部員) 始発のバス停には何時くらいに集合することになりますか。
- (田澤部員) 通常小学生は7時50分頃に登校するので、そこから逆算すると、一番時間がかかるところで25分から30分くらいとすれば、早いところで7時20分に集合ということが想定できると思います。仮に、10分程度のコースのバスをもう一カ所近いところに活用すれば、計算上では20分程度遅れることになり、一番遠い所と、そんなに差はなくて済むと思います。
- (蓬田部会長) 本日は、3つの学校区について検討していただきましたが、事務局には、今、出していただいた案を検討していただいて、次回にご報告していただきたいと思います。市の財政も厳しい状況で、事務局でもできる限り台数を減らしたいということで、苦勞されていると思います。今後、ピストン輸送も含めて、台数を減らすための検討もしていかなければならないと思います。その辺も含めて、今回出た案を事務局にまとめていただき、次回検討するということがよろしいですか。
- それでは、停留所・運行ルートの検討についての協議は以上したいと思います。

(2) その他

- (蓬田部会長) 今までのことで皆さんからご意見・ご質問等ありますか。なければ、(2)その他に移らせていただきます。事務局から何かありますか。
- (森口主幹) ありません。
- (蓬田部会長) 皆さんの方から何かありますか。

(稲見部員) 次回の予定はどうなりますか。

(森口主幹) 来年度につきましては、当初の予定では4月に予定しておりましたが、新年度になりまして、役員の皆様方の改選等もあるかと思いますので、その調査も含めまして、事前に委嘱のお願いを年度末ぐらいにお手紙で照会させていただきます。次回の開催につきましても、今のところ、5月の連休明けくらいに開催できればと思っております。また、改めて文書でご照会及びご連絡等をさせていただきますので、引き続き来年度につきましてもご協力いただきたいと思います。

(蓬田部会長) 以上で終了したいと思います。お忙しいところありがとうございました。